

あいちトリエンナーレ 2016 出品作品

大愛知なるへそ新聞社 プロジェクト参加者 募集開始!

主催：
あいちトリエンナーレ実行委員会
なるへそ新聞社

||||| 虹のキャラヴァンサライ
あいちトリエンナーレ 2016
8.11→10.23



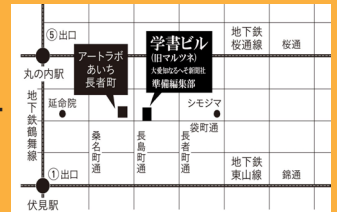
8月11日から10月23日まで愛知県内で展開する「あいちトリエンナーレ 2016」の出品作品として、「大愛知なるへそ新聞」の発行が決定!

これにあたり、5月より準備編集部をオープンし、活動を開始します!!

5月21日(土) 13:00~15:00
受付 12:45~

プロジェクト参加者募集説明会を開催します!
申し込み不要/参加無料

場所：学書ビル
名古屋市中区
錦2丁目6番25号
(グレイスイン
名古屋 東隣)



なるへそ新聞ってどんな新聞?

記者として参加できる：愛知という大きなエリアを舞台に、街の変遷と都市の有り様を紙面上で、記者・当事者・読者として体感していくための参加型の新聞プロジェクトです。当新聞の記者や編集者となったり、取材される語り部側になり、新聞作りに参加できます!

個人的な思い出話を取材：子供の頃のお遊び場での出来事だったり、昔住んでいた家での仕事や、家族内でのささいな事件の話といった個人的な昔話を新聞記事の「ニュース」や小説・マンガや広告など 様々なジャンルの姿で紹介していきます。記事には何年前とかをすっとばし何日未明とか日と時間帯のみを書くだけなので、昔話でありながら現在それを読む読者と地続きの時空間としてとられるようになっていきます。

街の記憶地図として：新聞は複雑にレイアウトされていて、街の地図のようです。「なるへそ新聞」では記事を書き換える際、前の号の記事を一部切り抜き、空き地ができたところに次の記事を作って、少しずつ記事が差し替わっていきます。新しい家を建てる前に古い建物を壊すという新陳代謝のようなプロセスで、少しずつ変わる街の地図のように紙面が徐々に変わっていく新聞です。

一緒に新聞を作ってくれる 仲間・記者を募集しています!

大愛知なるへそ新聞社は準備編集部・およびトリエンナーレ本会期中に展開する「展示会場内編集部」で一緒に新聞を作ってくれるボランティア参加の記者・編集者・図案画家・イラストレーター・手書き文字書き等、様々な新聞製作に関わってくれる方々を募集しています。

できるだけ多くの方々に記者として、そして語り部としても参加していただければ、より広く豊かな個人のディテールを連れて、我々は一緒に街の次の姿を作っていくことができるのではないかと考えています。

専門的な知識や経験は必要ありません。新聞を作るという方便で、色んな人とおしゃべりをしてみたい方、アート・プロジェクトに参加してみたいけど絵や映像は作れないという方、文章は苦手だけど挿絵とか描いてみたいという方、小学校や中学校で学級新聞作るのが楽しかったという方、字が上手だったりユニークだったりする方、そしてもちろん取材や記事を書いたりするのが楽しそう!と感じている方は、ぜひ一緒に新聞作りをやってみましょう!

大愛知なるへそ新聞 編集長 山田 亘

「大愛知なるへそ新聞」準備編集部お披露目会
6月10日(金) 18:30~20:00 / 受付 18:00~

申し込み不要/参加無料

※お披露目会終了後、懇親会を同会場で行います。
(懇親会参加費：300円)

場所：学書ビル 名古屋市中区錦2丁目6番25号
新聞準備編集部の現状と今後の展望の発表の場
新聞制作途中のプロセスのレポートや建物を披露します!

お問い合わせ：あいちトリエンナーレ実行委員会
052-971-6127 (電話受付は平日 11:00-17:00)